



このQRコードからHPを見ることが出来ます。



長崎市立橘小学校

～寄り合って、寄り添って、みんなで育て、みんなで育つ～

かがやけ ひびけ たちばなキッズ



TACHIBANA TIMES

令和6年6月24日発行 文責 校長 宮原 友彦

◆ 長崎っ子の心を見つめる教育週間について

橘小学校では、今年は6月24日から6月30日までを「長崎っ子の心を見つめる教育週間」としています。さて、毎年、この時期に、心を見つめる教育週間を行う理由についてみなさんは覚えていらっしゃるでしょうか。きっかけになったのは、この長崎県で起きた2つの痛ましい事件です。

平成15年7月1日、長崎市で中学1年生が幼稚園の子どもを殺してしまうという事件が起きました。

平成16年6月1日には、佐世保市で小学6年生の女の子が同級生の女の子を殺してしまうという事件が起きました。

どちらも、とてもショックで、つらく悲しい事件でした。

事件が起きてからすでに何年も経ちますが、今でも、家族や同級生、先生たちにも消すことできないつらい出来事となっています。また、残念なことに、このような取組をしている中、平成24年7月に佐世保市で女子高校生が同級生を殺してしまうという悲しい事件が起きてしまいました。

このような不幸で悲しい事件が二度と起こってはならない、起こさせてはならないという強い思いを込めて、この時期、長崎県内すべての小中学校で、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」という期間を設けて、様々な取組を行うようにしています。

橘小でも、命の大切さについての校長講話、被爆家族継承講話(4～6年)、SNS ながさきを活用した情報モラルについての学習などを行っています。「家に帰ったら、今日こんなことを考えたよ!感じたよ!ということをお家の人に必ず伝えて、一緒に考える機会をもってくださいね。」と子どもたちに話しています。この一週間は特に「今日、どんなことがあった?」と『命』『生きる』ということについて、家族で話をする機会をぜひもっていただきたいと思います。

◆ 梅雨入りしました…

印刷物には
「じょうろ」
を掲載しています。

小林 純一

(詩集『茂作じいちゃん』1978年刊)



九州北部の梅雨入りが6月11日に発表されました。昨年と比べると、1ヶ月ほど遅く、平年と比べると1週間ほど遅いそうです。先週まではあまりまとまった雨は降っていなかったのですが、今週はしばらくは雨が続くようです。

さて、私はあまり梅雨が得意ではないのですが、梅雨に入るとなぜか上記の詩を思い出します。雨になると私も含め嫌がる人も多いと思うのですが、植物にとっては恵みの雨。この時期にしっかり水分を吸い上げることで、大きく大きく成長することができるのです。見方を変えると、梅雨もそうそう悪いものでもないなあと思います。また、1、2年生は今アサガオやミニトマトを育てていますが、雨降る如く、露おく如く…やわらかく、やさしい気持ちで、如雨露で水をそそぎ、うるおすことができる子どもになってほしいと願っています。

宮原のつぶやき

人は「人」「本」「旅」によってしか学ぶことはできないという言葉があります。目が悪くなったのと、まとまった時間がなかなかとれず、今はなかなか読むことができていないのですが、子どもの頃からあらゆるジャンルの本を読むのが大好きです。特に歴史小説の司馬遼太郎、隆慶一郎、池波正太郎、動物物語の椋鳩十さんが好きで、何度も読み返したものです。実は漫画も大好きです(^_^) 梅雨の時期は本に触れるチャンスです。好きな本と出会えることは、人生の宝だと心から思います。皆さんはどんな本を友としますか?